

平成30年4月13日

会 社 名 e B A S E株式会社
 (コード番号：3835 東証第一部)
 本社所在地 大阪府大阪市北区豊崎五丁目4番9号
 代 表 者 代表取締役社長 常 包 浩 司
 問 合 せ 先 取 締 役 窪 田 勝 康
 執行役員 C F O
 電 話 番 号 (06) 6486-3955 (代表)
 U R L <http://www.ebase.co.jp/>

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成29年5月12日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成30年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想 (A)	3,660	821	830	567	49.34
今回修正予想 (B)	3,828	958	977	688	60.27
増減額 (B-A)	168	137	147	121	
増減率 (%)	4.6	16.7	17.8	21.5	
(ご参考) 前期実績 (平成29年3月期)	3,580	828	815	566	49.81

(注)平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行いました。前回発表予想の1株当たり当期純利益は、当該株式分割が前連結会計年度の期首に株式の分割をしたと仮定して算出しております。

修正の理由

平成30年3月期の連結業績につきましては、売上高、利益ともに前回発表予想より上回る見通しとなりました。

個別業績においては、主力とする食品業界向け「FOODS eBASE」やその他業界向け「GOODS eBASE」のソフトウェア販売に加え、新たにリリースしたクラウドサービスが好調に推移したこと等により、売上高、利益ともに予想よりも増加し、計画を上回る見通しとなりました。

また、IT開発アウトソーシングビジネス分野のeBASE-PLUS事業でも、稼働工数の増加、新規採用が順調だったことや人材の再配置及び顧客との単価交渉の実施により1人あたりの収益性がアップしたことで売上、利益ともに計画を上回る見通しとなりました。

この結果、連結業績は、売上高3,828百万円(前回発表予想比+4.6%)、営業利益958百万円(同+16.7%)、経常利益977百万円(同+17.8%)、親会社株主に帰属する当期純利益688百万円(同+21.5%)となる見通しです。

(注)上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上